

令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	高校	学年	2年	コース	進学	
教科	地理歴史		科目	世界史A		単位数 2
担当者	A	白石雄一郎	B	森崎卓哉	C	椎原 精近
教科書	要説 世界史A 山川出版社			副教材		

○学習到達目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培う。
国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
iPadを用い、調べ学習を数多くこなすことで、多くの情報から必要なものを選び出す力を身につける。

○教科道徳教育到達目標

国際社会に関する知識と理解を得るとともに、国際社会の中で主体的に生きる精神を養う。また我が国の抱える課題の解決に向けて、多面的・多角的に考察し、議論する力を身につける。

○学習方法

- ① 基礎的な知識をしっかりと身につけ、それを活用して科学的に社会を考察できるようにする。
- ② 現代社会で起きている社会的事象と結び付けて理解できるようにする。
- ③ 過去の事象から、現在の私たちの社会や国家の問題に生かせるものはないか、常に考え、表現できるようにする。
- ④ 授業内容をしっかり記録すること。(板書のみではなく、気づいたことなど)
- ⑤ 学習課題は、提出期限を守ること。

○グレード別授業の基準

日本史Bのグレードと同じメンバーで授業を行います。

○指導計画

- 4・5月 新型コロナウイルスによる休校
- 6月 中国文明の始まりと中国の統一 *6/29(月)確認テスト
- 7月 東アジア世界の形成
- 8月 東アジア世界の発展 *期末考査
- 9月 東アジアの変容と日本の動向
- 10月 列強による世界分割
- 11月 修学旅行事前学習 修学旅行 *期末考査
- 12月 諸民族の抵抗運動
- 1月 第一次世界大戦と世界
- 2月 第二次世界大戦と世界 *学年末考査
- 3月 東西対立と両陣営の形成

○評価方法

各学期ごとに期末考査・ルーブリック評価を行い、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。

「ルーブリック評価表」

「ルーブリック評価表」		教科&単元		氏名	
単元	どの時代にも対応（汎用型）	指導テーマ	①時代区分の特徴を把握し、きちんとその区別ができる。 ②多角的な視野に基づき、それぞれの時代の特色を自分の意見で表現できる。		
観点	評価段階 評価項目	A（3点）	B（2点）	C（1点）	D（0点）
知識及び技能	確認テスト	確認テストなどを行い、10点分を加点する。			
	確認テスト（再テスト）	確認テスト（再テスト）を行い、10点分を加点する。			
思考力・判断力・表現力等	自分の意見を簡潔に表現①	資料を複数活用して、自分の意見をまとめている。	1つの資料だけで、自分の意見を表現している。	資料のデータをそのまま提示し、自分の意見が表現されていない。	期限内に、提出されていない。
	自分の意見を簡潔に表現②	誰にでもわかる表現で、教室にいるすべての人が聞き取れる声で伝えている。	誰にでもわかる表現で、教室にいるすべての人が聞き取れない声で伝えている。	表現がわかりにくい、教室にいるすべての人が聞き取れる声で伝えている。	表現がわかりにくく、教室にいるすべての人が聞き取れない声で伝えている。
	授業で取り上げていない項目についての研究	授業で取り上げていない項目について、3つ以上理由を添えて挙げることができる。	授業で取り上げていない項目について、2つ以上理由を添えて挙げることができる。	授業で取り上げていない項目について、1つ以上挙げたが、その理由を説明できない。	授業で取り上げていない項目について、1つも挙げることができない。
	次回のテーマについての分析・表現	テーマの特徴を踏まえて、その課題を明確にし、次のテーマについて的確に表現できる。	テーマの特徴を踏まえて、その課題を明確にし、次のテーマについて一部のみ表現できる。	テーマの特徴を踏まえて、その課題を明確にし、次のテーマについて全く表現できない。	期限内に、提出されていない。
	提示されたテーマに基づく資料の収集	提示されたテーマを考察できる資料を、3つ以上提示している。	提示されたテーマを考察できる資料を、2つ以上提示している。	提示されたテーマを考察できる資料を、1つのみ提示している。	期限内に、提出されていない。
主体的に学習に取り組む態度	予習課題への取り組み	期限内に、きちんと自分の力でやり遂げて提出している。	期限内に、他の人に教えてもらいながらやり遂げて提出している。	期限内に提出したが、すべてはやり遂げていない。	期限内に、提出されていない。
	他者の意見に対する意欲・関心	自分と異なる意見に対して、その違いを正しく認識し、その違いをすべての確に表現できる。	自分と異なる意見に対して、その違いを正しく認識し、その違いを一部のみ表現できる。	自分と異なる意見に対して、その違いを認識できず、その違いを表現できない。	期限内に、提出されていない。
	授業中の取り組み①	全ての板書を写し、講義の内容などを別枠でメモするなど工夫が見られた。	全ての板書を写した。	板書の一部を写した。	板書をしなかった。
	授業中の取り組み②	提示されたテーマを考察できる資料を、3つ以上提示している。	提示されたテーマを考察できる資料を、2つ以上提示している。	提示されたテーマを考察できる資料を、1つのみ提示している。	期限内に、提出されていない。
	復習課題への取り組み	与えられた課題に対し、自主学習を行い、期限内に提出できている。	与えられた課題を期限内に提出できている。	与えられた課題を期限後ではあるが、提出できている。	与えられた課題の提出ができていない。